

毎週火曜掲載

育に新聞を

実践

コラム

力試し



11完

漢字の読み書き競う

い家庭も多くなる中、少し級にはトロフィーを渡す。新聞にあまり触れること
 ずつ、新聞がある生活になじ出題範囲が決まっているたのなかつた生徒が、新聞に興
 んでいく様子が見られていめ、一生懸命勉強した小学生味を持つきっかけにもなっ
 る。が、中学生より高い点数を取
 授業では、中学1年国語「二ることもある。児童・生徒は、
 ユースの見方を考えよう」に対策プリントを作ったり、記
 おいて、スポーツに関連する事の読み合わせを行ったりし
 記事の読み比べ学習を行っながら意欲的に取り組んでい
 いた。生徒は各新聞の特徴や違
 いに気付き、自身の情報の受
 け取り方について考えを深め
 ていた。「いろいろな新聞を
 読んでみたくなった」「面白
 かった」「これからの情報と
 の付き合い方に生かしたい」
 などの感想が聞かれた。
 また、本校では年に数回、
 小学6年生と中学3年生と教
 職員を対象に「一斉漢字テス
 ト」を行っている。1週間前
 に学習材(新聞記事やコラム
 2、3種類)を配布し、その
 中から漢字の読み・書きを出
 題する。結果は学級・部活動
 ごとに発表し、校内1位の学

(豊里中教諭・山家優子)

本校は、本年度からNIE実践指定校となった。目標は、
 教養の深まりや視野の広がり
 という内面的成長と、語彙力
 や読解力、思考力など学力面
 での向上である。

まず、新聞に親しむための
 環境づくりとして、多くの生
 徒が自由に手に取って読める
 よう教室前廊下に「NIEコー
 ナー」を設置した。複数の
 新聞の一面を並べて掲示し
 たり、生徒が関心を持ちそ
 うな記事を集めたりしてい
 る。

昼休みに新聞を読むことを
 日課にする生徒もいれば、通
 り掛かりにふと手に取る生徒
 もいて、新聞を購読していな

登米市豊里中

メモ 生徒211人。田辺昭
 浩校長。2003年11月、内閣府
 より「豊里小中一貫教育特区」
 の認定を受け、04年度より小
 中一貫教育に取り組む。07年
 度からは校舎一体型の小中一
 貫教育校に。登米市豊里町上
 町裏100。



昼休みに、NIEコーナーで新聞に親しむ生徒